

総合防災訓練を終えて

会長 説田克志

今年の訓練も大変な暑さの中、ご参加の皆様、有難うございました。反省点は色々ありますが（下記）皆様のご協力の下、無事終了いたしました。総合防災訓練は連絡会の最大の行事であり、この会の目的達成に一番必要な訓練です。市の職員とのコミュニケーションの場であり、参加町会への告知の場としても貴重な機会です。市の行事として、毎年9月1日の前の日曜日に開催の予定です。鬼が笑う話ですが、今年参加出来なかった皆さんも来年のスケジュール調整をして、参加できるようにお願いいたします。

防災訓練 反省会メモ

電文の作成について

- ・ 通信分が長すぎます。短く、平易な文章で作成してください。
- ・ 宛先、発信人、返信の要否を明確にして欲しい。
- ・ 特に、アマチュア無線担当宛てか、班長宛か、届け先が不明確であった。
- ・ 「してください」ではなく「報告せよ」などと用件を的確にしてください。

定義について

- ・ 非常通信の開始・終了はどの時点か（閉局の確認などは非常通信か？）曖昧である。
- ・ 文章・文言の統一 「地区本部」ではなく、マニュアルに従い「地区統制局」に統一すること。
- ・ アマチュア無線は「依頼信」の取り扱いのみで、判断しないのが原則ではないか。

運用について

- ・ 閉局のタイミングは、班長の指示に従うのか、地区統制局が承認するまで待つのか 曖昧であった。
- ・ 電文の読み方の工夫 「短く、繰り返す」など、受けての立場になって工夫してほしい。

防災課への要望

- ・ アマチュア無線は「感知しないと言われた」 大穴北小
- ・ 通信担当が「防災無線機の使用法を知らなかった」 三咲消防署
- ・ 担当職員の固定化はされないのか
- ・ 避難所で回答用の通信票を先に渡された所が有る
- ・ 通信票が防災無線の付近に配備されていない避難所があった
- ・ 訓練終了について、避難所班長の指示が明確でない所があった
- ・ 災害の場合、避難者は訓練の行われている会場に避難するが、中学・公園なども含めるべきではないか

その他の意見

* 会員の高齢化が進んでいるが、若手の取り込みを図るべきではないか

会長談

電文の作成、定義、運用についての問題は、来年に向けて更に検討を進めて善処したいと思います。

また、防災課への要望は防災課に伝え、調査・検討を依頼しました。これからも、防災課並びにYUXメンバーとの打合せを密に重ね、より良い方向を目指したいと思います。

習志野地区防災訓練とネットワーク構築テスト

ニュース前号でお知らせした習志野台地区防災訓練は好天に恵まれ、3町会約260名が参加して予定通りに実施されました。自治会側の訓練としては参加者を4班に分けて順番に、起振車および煙中避難の体験、心肺蘇生術（人工呼吸、AED）実演、三角巾操法、初期消火訓練、119番通報訓練、などが行われました。

連絡会もPRのため毎年有志が参加していますが、今回は7局の参加を得てPR活動としてJARL作成の「阪神淡路大震災のアマ無線の活躍」ビデオの上映、およびクラブ局YNAの基地局を設置しコンテストを行いました。

このコンテストは従来のネットワーク構築テストに替わるもので対象をクラブ員以外の一般局に広げ、我々の存在をアピールする目的で、今回初めてでしたが周知が不足だったせいか結果は今一でした。

ただ市外局からの応答もあり何度かやる事に依り盛んになる可能性もあり、期待したいと思います。



JK1PIK 提供

JK1PIK

2007/6/3 JJ1YNA/1 習志野台地区防災訓練会場 交信記録

運用 freq MHz	運用担当 call sign	相手局 call sign				
50.2	JS1IWA	JF1XPH				
144.76	JA1QC	JH1MQC				
432.76	7L3UQW	7L2NWB	JP1EOI	JA1ETB	JS1IWA/1	JA1XQC
		JG1DVF/1	JF1XPH	JA1DDF	7L1TTH/1	JH1MQC
1292.72	JL1GYB	JH1TVY	JG1BAG	JA1DDF	JK1TUJ	7L1TTH



JL1GYB 木村氏提供

訓練会場 習志野台8号公園

参加局：JA1QC, 7L3UQW, JS1SWW, JK1PIK, JS1IWA, JL1GYB, JK1TUJ

第 1 回移動運用報告

月日 5月27日 場所 柏市箕輪、手賀沼湖畔 担当 JH1GEN, JA1VRZ

無風、快晴、そして今年最高の気温を示す中で賑やかに移動運用が開始されました。

結団式後 JJ1YNA を立ち上げて 7 / 18 / 21 / 50 / 430MHz と運用を開始、各局とも 10W 以下の出力で苦戦しながら賑やかに QSO を楽しみました。今回は初参加の JS1SWM 中島氏の活躍が目立ちました。430 ハンディに少し長目のホイップを装着し、山からの信号に呼びかけて最多 QSO 記録を残されました。

昼時になり撤収開始、予定していた満天の湯へ直行。先ず腹ごしらえしてから温泉を楽しみ、ゆっくりしてから解散となりました。

帰り道は、各局とも思い思いのコースで交信しながら家路を辿り、各ルートの混雑具合をリアルタイムで確認することが出来ました。これも無線の良さのひとつです。

お蔭様で楽しいひと時を過ごさせて頂きました。

ご参加の各局のご協力に感謝、ご多幸を祈念申し上げます。ご好評にお答えして、どうやらこのパターンが定着しそうな予感がします。

さて次は何処へご案内しようかな ちょっとした山と温泉ですかね。

JH1GEN



参加局

JA2LGY . JA6AZE . JO1GLR . JA1VRZ . JS1SWM . 7L3QW . JA1QC . JG1DVYJK1TUJ . JK1PIK . JL1GYB .
JH1GEN . JS1IWA

ハムフェアに行ってきました

「ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消え、かつ結びて、久しくとどまりたる例なし。」これは、皆さんご存知の通り「方丈記」の書き出しですが、ハムフェアもまさに、ゆく河の流れのごとく絶えず、ことしもやってきました。淀みに浮かぶうたかたはではありませんが、自作する方にとっては「お宝」であるジャンクの出展や数年前にはあちこちで見かけた中古パソコンもだんだん影が薄くなってきているようです。また、入場者を見回してみれば年々平均年齢が上昇しているのか、若者の姿もまれになってきているようです。これも「ゆく河の流れ」でしょうか。

8月25日(土)9時に西船橋に集合、新木場経由で会場へ。会場では10時少し前というのに長蛇の列。会場内では、それぞれ単独行動で「お宝」探し。お昼には集まって情報交換。14時30分会場から離れ「お茶」しながら、戦利品の自慢会。関の過ぎ去ることも忘れる一日でした。

現地合流の方も含め合計9局、JA1QC・JA1DDF・JA1ETB・JF1EYP・JG1BAG JK1TUJ・JK1PIK・JS1SWWの各局さん、お疲れ様でした。

最後になりましたが、出展でお見かけした JA1BWA・7L1TTH局ご苦労様でした。

JL1GYB

技術講習会のご案内

日 時; 9月30日(日) 13:00~15:00

(12:00から予約していますので、早めに来られてもOKです)

場 所; 飯山満公民館

内容; ヘンテナの製作(430MHz)

費 用; 500円以内

持参物; 半田ごて・430MHzリグなど

申 込; 当日の飛び入り大歓迎ですが、材料の準備の関係上事前申込の方を優先させていただきます。

申込はホームページからでもOK, その他有線・FAXなど、どんな手段でもOKです。

連絡先; JK1TUJ / 加藤 または JL1GYB / 木村まで



JK1TUJ

移動運用のご案内

移動運用は10月28日(日)移動先はとりあえず鹿野山にします。鋸山も良いかもしれませんがアンテナを上げる場所があるか不明です。場所は変わるかもしれませんが、良いところを見つけています。

決まりましたらホームページ、ミーティング等でお知らせします。

JA1VRZ

広報からのお知らせ

ホームページのURL 変更について

JJ1YNAが無料でお借りしているルピナスサーバーへFTPでのUPが出来ない状況が続いている中で、ついにHPへもアクセスが出来なくなりました。過去も、同じような状況が続き皆様にはご迷惑をお掛けしま

したので、この機会にサーバーが安定しているNifty（有料）に変更しました。

<http://homepage2.nifty.com/hmcc/jj1yna/index.html>

このサーバーは、中村さんが個人で契約されている容量の一部を、会にご提供して頂いております。しかし、今後の事を考えますと、会として独自のサーバーを契約した方が、ご迷惑を掛けないと思われまます。また、この件につきましては、現在検討中です。

トピックス欄について

サーバーの移動に伴い、複数のイベントを書き込みできるようになりました。（見本をコピー）イベント名をクリックしますと、イベントの内容が書き込んでありますから、申し込みフォームに従い登録してください。また、3月の役員会で各イベント担当が掲載しても良い事にしてあります。

各イベントの担当役員の方は、出来るだけご協力をお願いいたします。

* 各担当はご自分で掲載した記事はご自分で削除して下さい。此処までが担当の責任です！

イベント案内のトップ画面見本

No.	イベント名	開催日時	開催場所	会費	終了
4	9月の第三土曜会終了	2007年09月15日18時00分～ 2007年09月15日20時00分			
3	9月30日 技術講習会	2007年09月30日13時00分	飯山満公民館	500円	

ホームページに関して

迅速な対応がとれるように、村上さんにお手伝いを依頼しました。

村上さんにはお手数をお掛けしますが、よろしくご協力お願いいたします。

新入会員のお知らせ

今回、新しく2名の方が入会されましたのでご紹介します。

1. JE1QFY 黒木規雄氏 50～430オンエア可 行田地区
2. JS1GXN 井手明久氏 習志野台地区 以前会員であり今回の防災訓練に参加（見学）されました。これで、現在の会員数は84人となっています。

事務局からのお知らせ

局免許の更新情報についてはニュースでお知らせすることにしています。ここ半年以内に無線局免許の有効期限が切れる局は、次の通りですから忘れないで手続きをお願いします。

7N4WOU,

*局免許を更新された際は、新免許状の写しを事務局宛てに必ず送付下さい。

写しの到着をもって更新の確認としています。写しを未提出の局は、次の局ですから至急送付願います。

JF6FET, 7K2CWU, JN1XAB, 7N1TCU, JP1EOI, 7L2NWB,

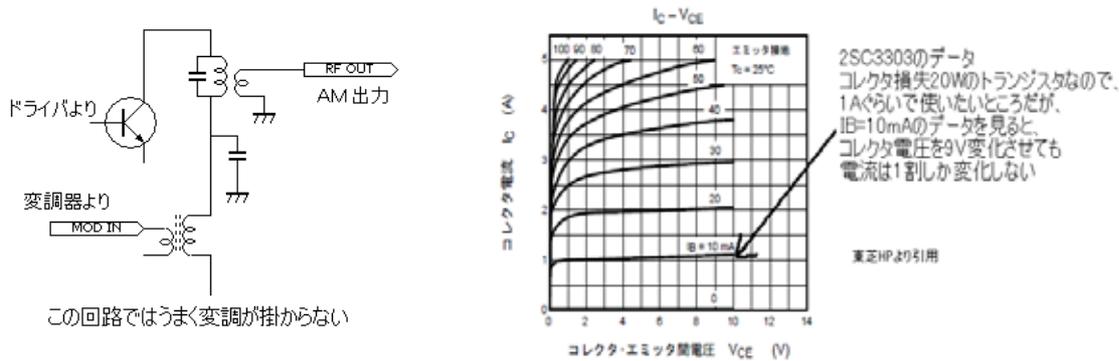
7L2USW, 7M2EAI

事務局 防災課 工藤

現代AM変調事情

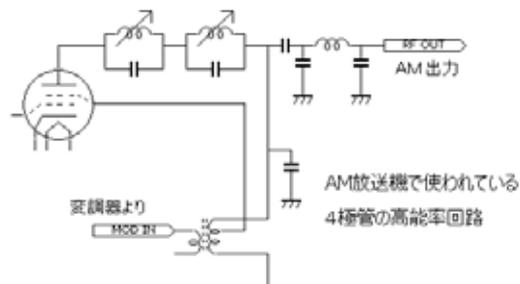
皆さん、AM変調の仕方ってご存知ですか？。音声信号で電波の強さを変えるのだから送信回路のファイナル回路に変調トランスを入れれば終わり!?って、思っていないですか？。いや、確かに、昔、それも 807 を使っていた昭和 30 年代ならそれで作れたのですが、4 極管になるとプレートだけではダメで、前段変調を併用する等、多少の工夫が必要になります。でも、この頃はまだ簡単でした。

これがトランジスタになると話がややこしくなります。IC-71 が 3 段変調を採用し、それを $\times \times -5200$ が模倣した話なんかは有名ですよ。"終段コレクタ変調"を、口で言うのは簡単ですが、変調だけを取り上げたら、トランジスタではこれ以上難しい変調方法はありません。FDAM-1 や TR-1000 がプラスアースだった理由の一つにもこの変調問題があります。



昭和 40 年代の雑誌自作記事では前段変調併用のコレクタ変調が主流でしたが、満足な特性が得られていたとは思えません。腕のよい方の設計では、何故か 2SC32 の様な古い石が使われていますが、これもおそらく変調対策です。新しいトランジスタほど特性が良く変調が掛かりにくいのです。

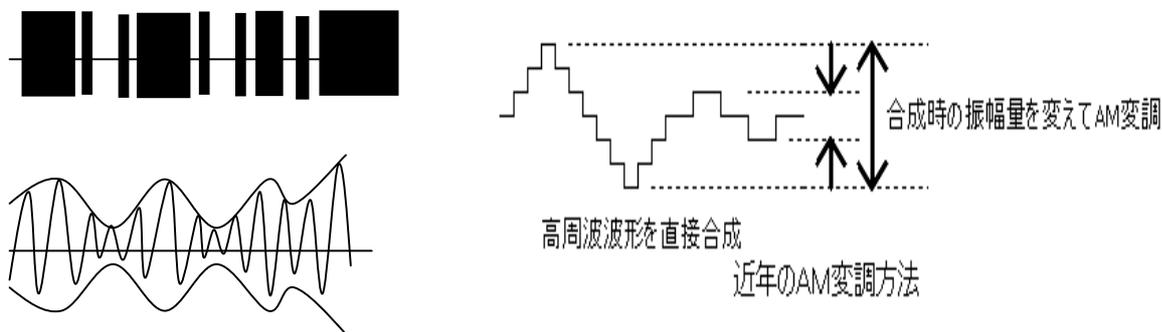
さて、それでは放送の世界ではどうしているでしょう。放送の世界では出力が大きいので、能率を良くすることが絶対条件です。3 極管 (9T71R とか) の頃は飽和増幅で 75% 能率、4 極管 (9F45 や 4CV50000) では高調波共振増幅 (E 級みたいなもの) で 80% ぐらいの能率としています。真空管に 125kW を喰わせるとそのうちの 100kW が出力になり 25kW が熱になる、という感じです。能率の点から言うと 4 極管は非常に優秀です。アマチュア機は 50% ですからね。



しかし、さすがにトランジスタや FET では終段 \times 変調という訳にはいきません。初期の FET 放送機は PWM (パルス幅変調) が使われていました。音声の強さで電波の強さを変えるのであれば、スイッチング回路で良いのではないかと、という発想からです。これとダイヤモンド出力回路を併用して高効率な回路を構成していました。D 級直列変調と呼んでいます。

最近の FET 放送機はデジタル的に波形を合成しています。FET を大量に並べて ON-OFF するのなら、ON になる FET の数をどんどん変えれば、デジタル的にサイン波を作り出すことができるという考え方で、このタイプの送

信機は変調をしているのではなく高周波の波形を直接作り出しているのです。この作り出す波形の大きさを変えれば変調が掛かる、これが最近のAM放送機の考え方です。法規上は直接デジタル変調ですね。85%くらいまで効率も向上しました。



少し前のAM変調方法(PWM-AM)

フリートーカー

ロレックスのシードウエラを買いました。潜水用の時計で1000mまで使用できます。3年ほど使っていたところリューズが引き出せない故障が発生しました。ロレックスの本社に修理に出しましたが、回復しないので3回修理にだしても直りませんでした。そこで修理専門のところにだしたら回復しました。本社は接客態度はいいのですが技術力はありませんでした。なんで回復していないのにお客に返すのか不思議でした。

J A 1 V R Z

編集後記

防災訓練の翌日、不覚にも体調を崩して、午後から早退して寝込んでいました。東消防署屋上では、ペットボトル2本とアイスコーヒーの差し入れと、自前のペットボトルで1.5リットルの水分補給はしていましたから、熱中症対策は十分でした。多分、仕事がついので疲れが取れずに、体力を消耗したのかもしれません。次回からは、同軸ケーブルを長くして日陰で運用出来るように心掛けたいものです。今回から、フリートーカーコーナーを掲載しました。原稿は、フリーですから気軽に投稿してください。投稿者が少ないと寂しい限りです。オンエア、ミーティングの1分間トークのような感じですから、皆様のご協力をお願いいたします。原稿が少ないと、お願いに伺うかもしれませんが、その節は、快く引き受けてくださることを願っています。

発行 船橋市アマチュア無線非常通信連絡会 船橋市アマチュア無線クラブ JS1IWA